

# 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道212号 本耶馬溪～耶馬溪道路		事業区分	一般国道	事業主体	大分県	
起終点	自：大分県中津市本耶馬溪町落合 至：大分県中津市耶馬溪町山移			延長	5.0km		
事業概要	中津日田道路は周防灘地方生活圏と日田玖珠地方生活圏の連携強化及び大分自動車道、東九州自動車道及び重要港湾中津港との連絡性の強化を目的とした大分県中津市を起点とし同県日田市に至る延長約50kmの地域高規格道路である。中津日田道路の一部区間である本耶馬溪～耶馬溪道路は耶馬溪地区の渋滞解消を目的とした大分県中津市本耶馬溪町落合から同市耶馬溪町山移に至る延長5.0kmの4車線（暫定2車線）道路である。						
H8年度事業化	H年度都市計画決定（H年度変更）		H11年度用地着手		H11年度工事着手		
全体事業費	14.1億円		事業進捗率	68.8%		供用済延長	0.0km
計画交通量	11,400台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 4.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 65 / 172 億円 事業費：43/150億円 維持管理費：22/22億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 297 / 297 億円 走行時間短縮便益：213/213億円 走行費用減少便益：40/40億円 交通事故減少便益：44/44億円	基準年 平成17年			
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=5.1（交通量+10%） B/C=4.2（交通量-10%） 事業費変動：B/C=4.3（事業費+10%） B/C=5.0（事業費-10%） 事業期間：B/C=4.5（事業期間+20%） B/C=5.8（事業期間-20%）						
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方生活圏の中心都市である中津市と日田市を連絡するルートである</li> <li>地域高規格道路中津日田道路として位置づけられた路線である。</li> </ul> <p style="text-align: right;">他18項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見	特になし						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	東九州自動車道椎田南～宇佐間の整備方針が国幹会議で決まり、アクセス道路となる中津日田道路の整備を早急に図る必要がある。また、本耶馬溪町および耶馬溪町は中津市と合併しており、新市周辺地区の連絡性の強化を図る必要がある。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	事業期間は長期にわたっているものの、用地は100%完了しており、主要な構造物についてもほぼ全て着手済みである。トンネル工についてはH18着手予定である。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地交渉の難航から事業進捗が遅れていたが、用地は100%完了しており、橋梁工については全て着手済みで順調に進んでいる。						
施設の構造や工法の変更等	環境保全のため、山地部の通過は出来るだけトンネル、橋梁の構造物で対応している。また、本耶馬溪町の平地部の通過では、民家の掛かりをできるだけ避けると共に、集落の分断を避けている。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらない						
事業概要図							

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。